

令和2年3月 平和な国日本へ、日本を侵略させない、守れる国造りを。

高貴香
足立区七十五才以上の皆さん、目指そう菊の香りに
包まれた高貴な日本づくり、日本を誇りある国へと
使命に燃えて生きてゆきましよう。

即位礼正殿の儀

令和元年十月二十二日

新天皇即位を内外に宣明。

世界最長の皇室が新たな歴史を
開かれた。

平和であれかしと、祈る姿は初
代から続く天皇家の典型であ
り、国を統合し、国民を想う心は
不変である。天皇のもとに、民は
自由であり、略奪されない、有難
い我が国日本に生まれた喜び
を、ここに子孫に言って聞かせ
よう。

国民祭典ご報告

十一月九日皇居で行われた国民
祭典、全国から集う、五万人の中
の一人として、国旗を振り、日本
国バンザイを叫んだ。陛下は、世
界の平和と日本国の発展を祈る
と発せられた。

自衛隊員真実の姿

憲法では自衛隊を認めている
とは読めない文章となつていま
す、今では国民のほとんどが自衛
隊に感謝し、認めているのです。
それでも彼らは、東日本大震災の
派遣先で、命令が無くても自主的
に黙々と泥水に入り、個人の通帳
や印鑑、写真等瓦礫の中から拾い
集め、泥を落とし持主が表れるま
で保管している。被災者の命を救
い、その想い出も救う、自主的な
行為に心を打たれます。

現場での対応

炊き出しは足立の訓練でも見るこ
とが出来ますが、災害の地で何百
人も食事を作る、隊員は午前三
時頃起床、夜が明ける前に、避難
所の人数分のご飯、味噌汁、おか
ずを用意届けますが、現場ごとの
状況に合せ、一番温かい状態で届
けられるよう、努力しているのだ
す。

隊員はどうしている

彼らは缶詰を懐に入れて体温で温
めて食べる、腹持ちが良いと赤飯
を食べたらマスコミに騒がれ、今
は食べられない、こんな隊員達を
認めましようよ。足立区民の皆さ
ん、

国土交通省陳情

せぬま剛後援会五十人と荒
川・赤羽水門事務所へ、更
なる防災強化求め陳情に行
ってきました。

このままでは危ない

説明する役人は、河川敷
は、樹木を適正に管理し
土を作り、ホームレスも避
難させました等とのんびり
話している、この緊張感の
無さは、大変だ。本気にな
って、堤防強化を、足立区
民は声を上げなければ、た
だ逃げろと言うだけだ！

「平成十二年国交省」

河川堤防設計指針によれ
ば、必要に応じて堤防の整
備すべき区間を設定し短時
間の越水に耐えられるよう
な、構造の堤防を設計する
必要を言っているが、足立
区の堤防には、ほとんど、
その強化工事が無いのが実
情、

区民生活政務調査依頼 足立区政でお気付の事、町の中の事、学校のこと

せぬま 剛へご意見をどうぞ、足立区へ提案します

氏名

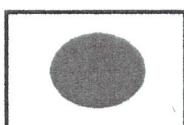
住所

ご記入の上

足立区政務活動事務所

090-4073-5145

せぬま 剛 後援会 足立区千住宮元町10-1



祝日には国旗を掲げよう

国旗販布・取付お申込はせぬま 剛へ